

様式 C-7-2

自己評価報告書

平成 22 年 5 月 19 日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19330181

研究課題名（和文） 学校評価システムの展開に関する実証的研究

研究課題名（英文） Positive Study on the Development of School Review

研究代表者

福本 みちよ (FUKUMOTO MICHIO)

玉川大学・通信教育部教育学部・准教授

研究者番号：40387410

研究代表者の専門分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教育学

キーワード：学校評価 学校支援システム 第三者評価 比較研究

1. 研究計画の概要

本研究では、①日本の各自治体、およびイギリス、ニュージーランド、ドイツ、アメリカといった各国における自己評価と第三者評価（外部評価）の実施実態、並びに評価の実施に伴い必要とされる諸施策（学校支援制度や評価者養成制度の構築、等）の特質や構造、機能等を明らかにし、そこから②学校評価システムの導入による効果と、その効果を最適化していくためのサポートシステムを「教育の質の保証」という観点から分析し、③日本の公教育システムを再構築するための課題を析出することを目的としている。

2. 研究の進捗状況

(1) 2007 年度においては、①国内外の学校評価に関する理論研究を整理した。②先進的に第三者評価システムを導入し、実態との齟齬やトラブルを経験しながら 10 年以上にわたってシステム修正を重ねてきたニュージーランドに焦点を当て、その改善モデルがいかなる効果を上げてきたのかという点についてこれまでの研究成果をまとめるとともに、近年の動向について検討した。

(2) 2008 年度においては、①理論研究として、新旧「学校評価ガイドライン」の検討を行った。②国内のいくつかの自治体を取り上げ、各自治体の施策内容及び学校自己評価、関係者評価、第三者評価の取組事例から、それらにみられる成果と課題について分析した。③ニュージーランド教育研究所主任研究官の Cathy Wylie 博士、およびニュージーランド全国学校理事会協会の Ray Newport 氏・Colin Davis 氏の指導助言を仰ぎつつ、ニュージーランドの学校評価システムの効

果要因分析のための質問紙調査の開発を行った。④イギリス・ドイツについて、学校評価システム（主として第三者評価）の展開過程についての現地調査を行った。

(3) 2009 年度においては、①日本の各自治体（埼玉県杉戸町、広島市、三重県、大阪府、長崎県西海市、岡山県矢掛町、福岡県、京都市、品川区、横浜市、新潟県胎内市、愛知県高浜市）を対象に、a. 各自治体における学校評価政策、b. 自己評価・学校関係者評価・第三者評価の実施実態を整理し、そこから c. b を有効に機能させるための条件・要件、もしくは阻害要因となるものを分析・抽出した。②イギリス・ドイツ・ニュージーランドの学校評価システムの展開過程について、近年の動向についての情報収集および整理を行った。③アメリカにおける認証評価システムについて、サンフランシスコ市の WASC およびサンフランシスコ統合学区と公立学校における認証評価について現地調査を行った。

3. 現在までの達成度

区分<②>

各国（ニュージーランド、イギリス、ドイツ、アメリカ）における自己評価と第三者評価（外部評価）の実施実態、並びに評価の実施に伴い必要とされる諸施策（学校支援制度や評価者養成制度の構築、等）の特質や構造、機能についてはほぼ調査が終了した。

日本については、調査対象とした各自治体（埼玉県杉戸町、広島市、三重県、大阪府、長崎県西海市、岡山県矢掛町、福岡県、京都市、品川区、横浜市、新潟県胎内市、愛知県高浜市）における学校評価政策およびその実施実態の整理が終了した。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度（2010年度）においては、これまでの研究成果をもとに、学校評価システムの導入による効果と、その効果を最適化していくためのサポートシステムを整理するとともに、それらを有効に機能させるための条件・要件、もしくは阻害要因となるものの分析・抽出結果を整理する。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔学会発表〕（計2件）

- (1) 加藤崇英・高妻紳二郎・福本みちよ「学校評価システムの展開過程に関する研究－日本・英国・NZでの学校評価システムの運用における支援とその特質に着目して－」（日本教育制度学会第17回大会課題別セッションII／2009年11月15日／於：常葉学園大学）
- (2) 福本みちよ「「教育省－第三者評価機関－学校支援機関」のネットワークによる学校改善支援プロセスに関する研究－ニュージーランド・オークランド市の学校を事例として」（日本教育行政学会第42回大会自由研究発表／2007年10月14日／於：神戸大学）

〔図書〕（計3件）

- (1) 研究代表福本みちよ『学校評価システムの展開に関する実証的研究』中間報告書(3)
(科学研究費補助金基盤研究(B))、2010年3月、120頁。
- (2) 研究代表福本みちよ『学校評価システムの展開に関する実証的研究』中間報告書(2)
(科学研究費補助金基盤研究(B))、2009年3月、160頁。
- (3) 研究代表福本みちよ『学校評価システムの展開に関する実証的研究』中間報告書(1)
(科学研究費補助金基盤研究(B))、2008年3月、158頁。